

岐阜県の実情にあった 発注方式見直しの提案

平成16年2月3日

(財)岐阜県建設研究センター
企画部長 永治 五郎

岐阜県の実情にあった発注方式見直しの提案

透明性、競争性を高め、
県民が納得できる
発注方式とする

県の基幹産業である
建設産業の活性化
を促進する

「発注方式の見直し」の提案

1. 入札制度について
2. 談合防止策について
3. 新たな発注方式について
4. 業者選定基準について
5. 入札契約事務改善について

県へ提言 H15年12月

1 入札制度についての提案

岐阜県では、他県に先駆けて様々な入札制度改革に取り組んでおり、現在の入札制度は一定の効果を得ているため、現時点での見直しはしない。

しかし、一般競争入札枠の拡大は全国の自治体で取り組まれており、避けられない状況である。

[現行制度の概要]

- ・ 3億円未満は指名競争入札
- ・ 3億円から5億円未満は公募型指名競争入札
- ・ 5億円から22億円未満は条件付一般競争入札
- ・ 22億円以上はWTO一般競争入札

2 談合防止についての提案(主な提案)

電子通知、電子閲覧、電子入札の早期完全実施

内容の不明確な談合情報の不採用

予定価格を設計価格とするほか、積算、単価、地域性を考慮した希望価格の明示

プロポーザル・V E制度等費用削減提案を促す制度の実施や設計施工一括発注方式の導入

2 1 岐阜県の談合情報の現状

2 2 談合の問題点

2 3 談合防止のための考えられる方策

予定価格の作成時

業者選定時

参加者への通知時等

入札執行について

契約者の決定について

3 新たな発注方式についての提案

入札金額以外の技術評価や、工事にかかる総合的なコスト縮減効果を得るために、新たな発注方式を試験導入する

地域内循環重視型総合評価方式

施工・保守管理一括契約方式

複数年一括発注方式

プロポーザルVE制度(入札時VE形態)

設計施工一括発注方式

技術提案型競争見積り方式

[ネゴシエーション(交渉)手法]

4 業者選定基準についての提案 -

(1) 地域貢献度について

入札参加者の指名に当たっては、地元業者の「地域貢献度」への評価を反映させるために、平成14年11月に試行導入された主観点数評価基準とは別に、基盤整備部で「地域貢献度」を数値化して評価を行う。

4 業者選定基準についての提案 -

(2) 主観点数の工事成績評価について

主観点数の工事成績評価は、業者1者あたりの施工件数が減少している状況を考慮し、現行の単年度から2～3年度の平均による評価とするほか、工事が適正に完成した場合には、それに見合った検査成績をつけるよう提案する。

4 業者選定基準についての提案 -

(3) 発注標準について (土木一式工事)

建設事業費及び事業件数の削減並びに大型工事の減少に伴い、現行発注標準による格付けランクごとの受注のアンバランスを解消するため、格付け工事費を、所属技術者シェア、受注金額シェアの視点から見直し案を提案する。

各付	現 行	提案の1	提案の2
A	7000万円以上	5000万円以上	6000万円以上
B	3500万円以上 7000万円未満	2000万円以上 5000万円未満	3000万円以上 6000万円未満
C	3500万円未満	2000万円未満	3000万円未満

5 入札契約事務についての提案

適正な入札の執行、入札契約事務の簡素化、経費の節減並びに建設業界の育成のため、入札の事務改善を提案する。

電子通知、電子閲覧、電子入札の早期完全実施

予定価格を設計価格とし、積算、単価、地域性等を考慮して希望価格を設定する。

低入札調査制度の対象を、現行の2分の1から、3分の2に引き上げる。